

平成18年度
大規模津波防災総合訓練(概要)

平成18年6月26日

四国地方整備局 企画部 防災課

平成18年度 大規模津波防災総合訓練(概要)

○訓練の目的

スマトラ島沖地震による津波被害を踏まえ、地震津波による被害の軽減を目指すと共に、津波に関する知識の普及・啓発を目的に大規模津波防災総合訓練を実施する

○訓練実施日時

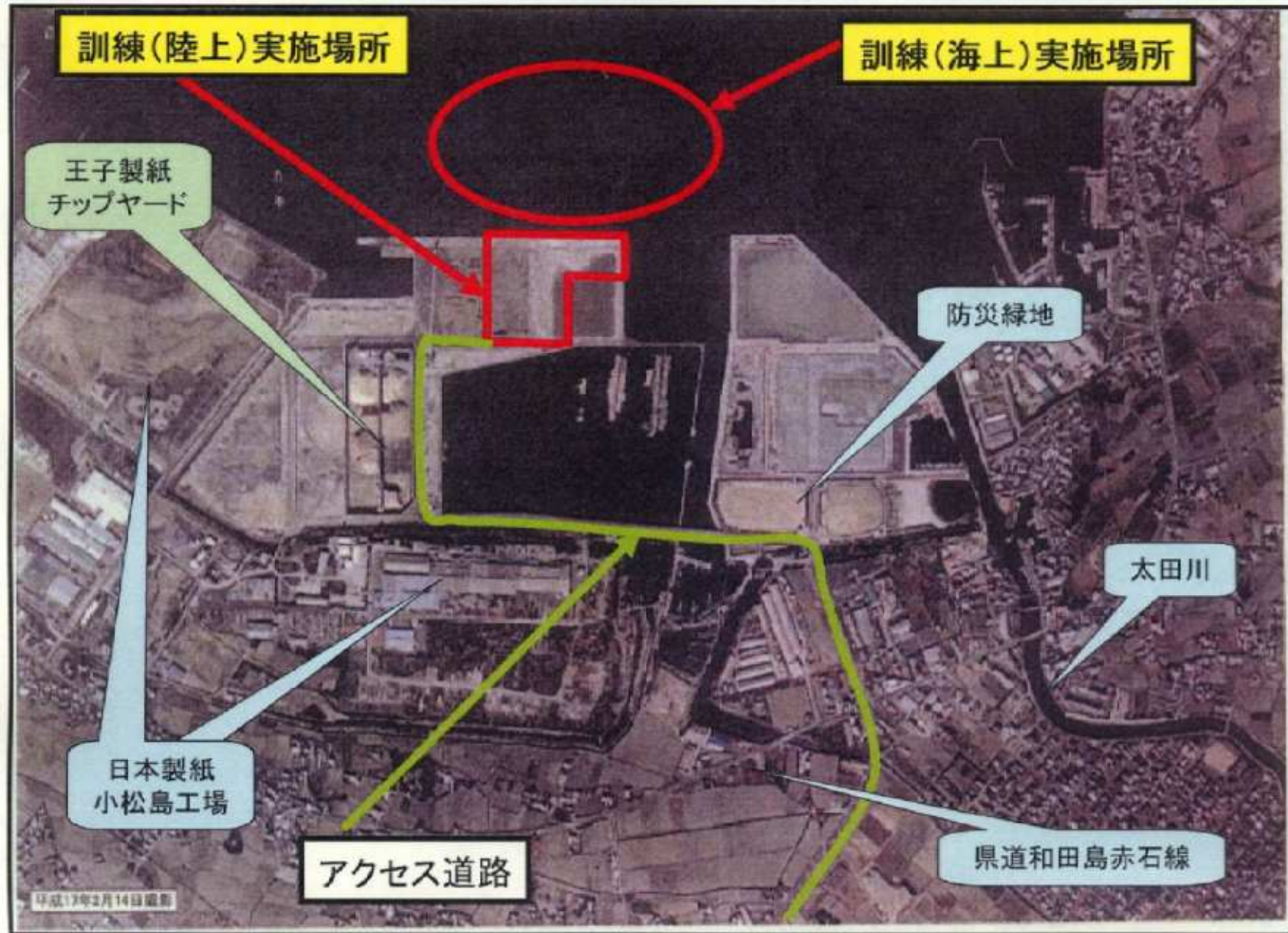
- ・平成18年7月30日(日)
- ・9:00~12:00を予定

○訓練実施場所

徳島県小松島市をメイン会場とし、四国各地においてもそれぞれ目的を持った訓練を実施



津波訓練会場(徳島小松島港赤石地区)



参加機関等(案)

●主 催 : 国土交通省

●協 賛 : 内閣府

●参加機関(案):

- 国 関 係 : 四国地方整備局、四国総合通信局、四国厚生支局、中国四国農政局、四国経済産業局、四国運輸局、大阪航空局、四国森林管理局、大阪管区气象台、高松地方气象台、徳島地方气象台、第五・第六管区海上保安本部、中国四国産業保安監督部四国支部、四国地方測量部
- 警 察 関 係 : 四国管区警察局、徳島県警察本部、香川県警察本部、小松島警察署
- 自衛隊関係 : 陸上自衛隊第14旅団、海上自衛隊徳島教育航空群司令部、海上自衛隊小松島航空隊
- 自治体関係 : 徳島県、香川県、愛媛県、高知県、小松島市等
- 消 防 関 係 : 小松島市消防本部
- 電力・通信・運輸・高速道路関係 : 四国電力(株)、NTT西日本(株)徳島支店、(株)NTTドコモ四国、四国旅客鉄道(株)、西日本高速道路(株)四国支社
- 協会・組合 : (社)徳島県トラック協会、(社)徳島県建設業協会、(社)日本埋立浚渫協会四国支部、四国港湾空港建設協会連合会、(社)日本海上起重技術協会四国支部、徳島県排出油防除協議会
- 病 院 関 係 : 日本赤十字社徳島県支部、徳島県医師会
- 大 学 関 係 : 徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、高知工科大学

今回の訓練の特徴

情報集約拠点の設置

- 連絡調整会議メンバーを中心に一堂に会して、収集した情報の共有化を図る体制を確認する
- 大型ディスプレイを中心に画像情報を収集すると共に、収集した被災情報等を拡大した四国の地図上に記入する
- 収集した情報をもとに各機関において対応策を検討する

様々な通信ツールを使った情報の収集・伝達

- ・情報集約拠点に様々な通信ツールを使って情報を収集する
 - 国土交通省、徳島県、海上保安部の収集したヘリテレ画像を四国整備局のネットワークを使って拠点に送る
 - 広域監視カメラ、河川・海岸・道路等の監視カメラにより収集した情報を拠点に送る
 - 警察系の通信ツールと連携して警察において収集した情報を拠点に送る

四国外との連携

- 中部整備局及び近畿整備局と連携した災害情報の共有
- 中国整備局と連携した広域応援体制の確認
- 収集した被災情報(画像情報)を本省への配信

訓練の全体構成(案)

I 部

地震発生直後の対応
(避難訓練、情報収集訓練等)

- ・住民の避難訓練や様々な通信ツールを使って情報を収集する訓練を実施する
- ・会場へは上記の状況を大型スクリーンにて放映
- ・情報集約拠点において、映像情報等を集約し、対策の検討を行う

開 会 式

II 部

津波災害発生後の対応
(被災者救助訓練、現地対策拠点設営訓練等)

- ・会場において実働訓練を実施
- ・併せて、四国各地で実施している訓練を大型スクリーンにて放映
- ・訓練の最後に災害対策用機械を集合させ、仮設テントや医療施設を備えた現地対策拠点を設営する

閉 会 式

訓練実施概要(案)

I部 地震発生直後の対応(避難訓練、情報収集訓練等)

津波警報の伝達訓練

気象庁からの津波警報を各機関を通して住民まで伝達

住民の避難訓練

地震発生と同時に指定避難場所へ避難

水門閉鎖訓練

遠隔操作により水門を閉鎖

道路・河川・港湾情報
板活用訓練

道路利用者・河川利用者・港湾利用者への情報提供

ヘリコプター・CCTV等による
被害情報収集訓練

ヘリコプター・CCTV等による被害情報収集訓練

情報集約拠点にて、収集した上記情報を共有し、各機関への伝達、本省等への報告を行う

訓練実施概要(案)

開 会 式

Ⅱ部 津波災害発生後の対応(被災者救助訓練、現地対策拠点設営訓練等)

被災者救助訓練

ヘリコプターや船舶により海上漂流者の救出
医療機関によるトリアージ・搬出

被災情報の収集訓練

パトロールカーによる被災情報の収集
衛星通信車や情報コンセントによる情報の伝達

消火訓練

市消防及び地域消防団による消火訓練

港湾・道路啓開訓練

港湾水面及び道路上の瓦礫等を回収

緊急輸送訓練

陸路・空路・海路を使った緊急物資輸送

ライフライン復旧訓練

現地対策拠点設営のために、電気・電話を復旧させる訓練

堤防復旧訓練

沈下した堤防を土のう等で復旧する訓練

現地対策拠点設営訓練

災害対策用機械の派遣、仮設テントの設置

閉 会 式

本省及び近隣整備局と連携した訓練(案)

●本省との訓練(案)

- ・四国から30分ルールで報告する被災情報の収集
- ・四国から伝達する被災映像の収集
(映像を確認している映像を返信、あるいはテレビ会議を実施)

●中部整備局との連携(案)

- ・三重県において実施している避難訓練の映像を衛星通信車を利用して小松島の訓練会場に伝達

●近畿整備局との連携(案)

- ・和歌山県において実施している避難訓練の映像を衛星通信車又はヘリコプター(ヘリテレ)を利用して小松島の訓練会場に伝達
- ・被災情報の収集のためにヘリコプターの応援出動

●中国整備局との連携(案)

- ・小松島の訓練会場にリエゾンを派遣し、広域支援について調整
- ・四国整備局からの応援要請に対して、災害対策車等の応援出動
(出動の様子を前撮りし、訓練会場で放映)